



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年8月12日

上場会社名 株式会社True Data 上場取引所 東
コード番号 4416 URL <https://www.truedata.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）米倉 裕之
問合せ先責任者 （役職名）執行役員 （氏名）上田 忠彦 （TEL）03-6430-0721
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	489	19.4	12	13.0	13	△12.4	6	△22.7
2026年3月期第1四半期	410	7.9	11	△50.5	15	△30.2	8	△53.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	1.34	1.34
2026年3月期第1四半期	1.74	1.72

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	1,523	1,170	76.8
2026年3月期	1,534	1,163	75.9

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 1,170百万円 2026年3月期 1,163百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	2,200	17.6	80	△21.3	78	△27.6	63	△21.4	13.08

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	4,841,200株	2026年3月期	4,841,200株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	-株	2026年3月期	-株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	4,841,200株	2026年3月期1Q	4,837,993株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(会計方針の変更に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果もあって雇用・所得環境の改善が進む中で緩やかな回復がみられました。一方で、円安や物価上昇の継続に伴う消費マインドの低下や石油資源由来の原材料不足など、景気の下振れリスクも依然として存在しております。さらに、欧米における高い金利水準の継続、それに伴う日本との金利差による円安基調、中国における不動産市場及び個人消費の停滞継続、ウクライナ問題の長期化や中東情勢のさらなる緊迫、米国の通商政策動向など海外の政治・経済の諸課題による影響も大きく、景気の先行きに対する不透明感は続きました。

当社は、全国に広がるドラッグストアやスーパーマーケット等の小売店における消費者購買ビッグデータとAI等のテクノロジーを活用し、小売企業や消費財メーカーなど顧客企業の収益拡大に貢献するソリューションの提供を主力事業としています。当社の事業領域はビッグデータを用いた社会構造変革や企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)やAIの台頭というメガトレンドの追い風を受け、中長期的な成長が見込まれております。当社においてもこのような追い風を受けつつ、小売企業や消費財メーカーの顧客企業の開拓・深耕が進み、成長トレンドが継続しております。

当第1四半期累計期間は、リテール向けソリューションにおいて前期に開始した大手小売向けリテールDXサービスやAIソリューションが業績に大きく貢献いたしました。また、メーカー向けソリューションにおいては、国内トップクラスの卸商社との協業により契約社数が着実に増加したほか、リテールメディア領域でも国内大手広告配信企業との協業による売上が伸長し、収益基盤の強化が進みました。さらに、新たな取り組みとして消費財メーカー向けにSAS Institute Japan株式会社の予測システムを活用した「日本市場向け価格シミュレーションサービス」の提供を開始したほか、リテールメディア領域において株式会社フリークアウトが提供する広告ソリューションに当社の広告用購買セグメントデータの連携を開始しました。一方で、中長期的なさらなる収益拡大を見据え、人材投資やAIソリューションの新規開発、業務プロセスの効率化・高度化に向けた運営・稼働費等の先行費用などが嵩んだことから、前年同四半期比で増収となったものの、利益面は小幅な増益にとどまりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における当社の売上高は489,913千円(前年同四半期比19.4%増)、営業利益は12,477千円(前年同四半期比13.0%増)、経常利益は13,498千円(前年同四半期比12.4%減)、四半期純利益は6,499千円(前年同四半期比22.7%減)となりました。

なお、当社は、データマーケティング事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産の部)

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ10,361千円減少し1,523,717千円となりました。流動資産においては、主に投資有価証券および出資金の取得による現金及び預金の減少、および売上代金の回収による売掛金の減少により、1,101,613千円と前事業年度末に比べ213,574千円減少した一方、固定資産においては、主に投資有価証券および出資金の取得により、422,103千円と前事業年度末に比べ203,213千円増加いたしました。

(負債の部)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ16,861千円減少し353,300千円となりました。これは主に、ストック型案件受注増による契約負債の増加、外注費用の支払いによる買掛金の減少、および税金費用の支払いによる未払法人税等の減少によるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ6,499千円増加し1,170,416千円となりました。これは、四半期純利益6,499千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の業績予想につきましては、2026年5月15日に「2026年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想の数値から変更はございません。

なお、今後業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	971,079	852,065
売掛金	261,246	171,856
前払費用	76,107	61,990
その他	8,734	17,679
貸倒引当金	△1,980	△1,980
流動資産合計	1,315,188	1,101,613
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	4,999	4,557
工具、器具及び備品（純額）	21,892	24,064
建設仮勘定	-	762
有形固定資産合計	26,892	29,384
無形固定資産		
ソフトウェア	81,299	68,917
ソフトウェア仮勘定	-	8,969
その他	1,596	1,507
無形固定資産合計	82,896	79,394
投資その他の資産		
投資有価証券	2,000	149,856
出資金	55,624	118,124
繰延税金資産	26,126	20,027
その他	25,350	25,316
投資その他の資産合計	109,101	313,325
固定資産合計	218,890	422,103
資産合計	1,534,079	1,523,717

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	95,925	73,121
未払金	16,254	19,376
未払費用	13,105	18,089
未払法人税等	26,629	4,962
未払消費税等	34,381	25,199
契約負債	114,906	143,698
賞与引当金	23,475	12,937
その他	41,627	52,050
流動負債合計	366,305	349,435
固定負債		
資産除去債務	3,855	3,864
固定負債合計	3,855	3,864
負債合計	370,161	353,300
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,371,774	1,371,774
資本剰余金		
資本準備金	211,264	211,264
資本剰余金合計	211,264	211,264
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△419,120	△412,621
利益剰余金合計	△419,120	△412,621
株主資本合計	1,163,917	1,170,416
純資産合計	1,163,917	1,170,416
負債純資産合計	1,534,079	1,523,717

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	410,367	489,913
売上原価	163,128	239,204
売上総利益	247,239	250,709
販売費及び一般管理費	236,198	238,231
営業利益	11,041	12,477
営業外収益		
受取利息	0	0
為替差益	-	256
有価証券利息	-	86
雑収入	4,367	677
営業外収益合計	4,367	1,020
営業外費用		
支払利息	4	-
為替差損	0	-
営業外費用合計	4	-
経常利益	15,404	13,498
税引前四半期純利益	15,404	13,498
法人税、住民税及び事業税	816	900
法人税等調整額	6,184	6,098
法人税等合計	7,001	6,999
四半期純利益	8,403	6,499

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(金融商品会計に関する実務指針の適用)

「金融商品会計に関する実務指針」(移管指針第9号 2025年3月11日)を当第1四半期会計期間の期首から適用しております。なお、これによる四半期財務諸表への影響は軽微であります。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、データマーケティング事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	15,508千円	15,761千円